

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	コロナ感染症収束後、家族や地域の協力を得ながら、入居者の外出の機会を増やしていきたい。また、外出ができなくても、外出気分を味わえるような対応が必要である。	コロナ感染症収束後の外出支援に努める。外出気分を味わえるような対応を計画実施していく。	<ul style="list-style-type: none"> ○入居者一人一人の外出へのニーズを確認、把握する。 ○外出へ向け、毎日の体操や、体力増強・維持に繋がる施設内レクリエーションを計画的に実施する。 ○外出気分を味わえるような写真・雑誌・動画・音楽等を活用する。 ○家族や地域の協力を得ながら、施設付近の地域行事への参加や、近所へ散歩に出かけたり、季節を肌や視覚で感じられるような機会を増やす。 	12ヶ月
2	35	火災や自然災害への取り組みや、被害を風化させないような話し合いの機会が少ない。	火災や自然災害に備えた訓練を実施m全職員での共有に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ○マニュアルを活用し、災害時に落ち着いた行動が取れるように、訓練を年2回以上実施する。その際過去の災害時の記録を参考に、スタッフ間で話し合い記録に残す。 ○いつでもすぐにマニュアルが確認できるように、施設の入り口にも保管する。 	12ヶ月
3	33	家族の気持ちや意向に沿った看取り支援を行うため、日頃の関わりを大切にケアの継続に取り組む必要がある。また、職員の入れ替えもあり、看取り体制の再構築が必要である。	重度化や終末期に関する指針について、職員間での共有に努め、また終末期の在り方に十分配慮し、支援を行えるようにしていく。	<ul style="list-style-type: none"> ○部外研修への参加、またその内容を部内勉強会等で共有する。 ○入居時からのご本人ご家族の気持ちや意向の聞き取りを行う。 ○過去の看取り支援での良かったことや反省点を共有する。 ○重度化や終末期に関する指針について、職員間で共有する。 ○病院や訪問看護等との連携要領を再確認する。 	12ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。